

授業科目名	比較学校経営論
科目番号	CB24171
単位数	2.0 単位
標準履修年次	2 年次
時間割	春AB秋AB 火2
担当教員	佐藤 博志
授業概要	日本、イギリス、オーストラリア、IBなどの学校教育の状況に言及しながら、国際的な視点、及び研究方法の視点をもって、学校や学級の研究（初等中等教育のシステム、設計、組織、実践など）に関する主要トピックを論究する。具体的な問題関心は、「学校、学級で、コンピテンシーベース・非認知能力育成をどのように進めるのか」という問いである。研究方法、カリキュラム、学校のシステムと環境、学校の特徴、学級担任制と学級経営、学校改善とイノベーション、世界の学校、教師の専門性、研究方法（政策研究と質的研究）、最新の学校の状況などについて講義する。合わせて「探究プロジェクト」を行う。これらの学びを通して、知識や考え方を習得するとともに、探究力・研究力を育成する。
備考	対面
授業方法	講義
学位プログラム・コンピテンスとの関係	国際性、課題解決能力、マネジメント能力の育成に特に関連する。 専門コンピテンスの「教育学の基礎的体系的知識」「教育学における総合的思考力」に関連する。
授業の到達目標（学修成果）	日本と諸外国の学校経営の理論・政策・実践について説明・考察できる。 今後の学校経営改革の在り方を考察できる。 様々な教育課題（学級経営を含む）について論究し、これからの教育の在り方について考察できる。
授業計画	この授業では、講義において初等中等教育研究（広義の教育経営研究）に関する知識、考え方、問いなどを解説する。いわゆる講義だけでなく、学生との対話（質疑）や討議も適宜取り入れる。また、担当教員が専門とする「質的研究」「政策研究」を軸に研究方法についても講義する。ATL（アプローチ・トゥ・ラーニング）を参考にした「探究プロジェクト」も行う。プロジェクトのチーム編成にあたっては、T0（ティーチング・アザーズ）の考え方を取り入れる。探究プロジェクトのテーマは、授業の主題を考慮して教育経営、組織運営的な観点を取り入れたものとする。  <春学期> 第1回 イン트로ダクション、この授業の目標 習得する能力、関心事項に関するアンケート調査【目標】 第2回 「探究プロジェクト」の進め方（問いの提示、パラフラフライティングの技法、政策研究、質的調査、問いへの応答）【方法】 第3回 比較学校経営論の8つの次元、社会変化と能力観の変容・コンピテンシーベースの教育【能力】 第4回 「逆向き設計」を活用したビジョンの設定 自己分析（受講生各自のメタ認知）と自分のビジョンへの接続 【ビジョン】 第5回 学校の特徴 小学校、中学校、高等学校における実践の構造【構造】 第6回 学級担任制と学級経営 非認知能力研究のフロンティアとその組織的実現を目指して 【学級】 第7回 学校イノベーションのプロセス 組織における分散、人間性、価値観【イノベーション】

授業計画	<p>第8回 世界の学校 文化が学校教育に与える影響【文化】</p> <p>第9回 教師の専門性と成長 授業研究、児童生徒理解、ライフイベントー【成長】</p> <p>第10回 「探究プロジェクト テーマ設定、先行研究の収集・検討、プロジェクトのループリック」&amp;春学期のリフレクション【省察】</p> <p>&lt;秋学期&gt;</p> <p>第1回 研究とは何か 社会認識、研究方法【研究】</p> <p>第2回 「探究プロジェクト 調査の設計」(政策研究と質的調査)【調査】</p> <p>第3回 「探究プロジェクト 政策分析の枠組みとインタビューガイドの作成」【理論枠組み】</p> <p>第4回 教育経営空間における「子どもの声」と「大人の声」について考える マルチパースペクティブメソッド【多元性】</p> <p>第5回 コンピテンシーベース・非認知能力育成を志向する学校と学級の課題解決プロセス 事例研究を読む【課題解決】</p> <p>第6回 コンピテンシーベース・非認知能力育成を志向する学校と学級の課題解決プロセス 事例研究を読む【課題解決】</p> <p>第7回 学校と学級における自治・リーダー行動・ダイナミズムー組織の相互依存性【組織】</p> <p>第8回 「探究プロジェクト レポートの作成とT0」【T0】</p> <p>第9回 「探究プロジェクト レポートの作成とメタ認知」【メタ認知】</p> <p>第10回 一年間のまとめ&amp;リフレクションー自分の変化について【省察】</p>
履修条件	
成績評価方法	レポート(80%)、授業態度(参加と貢献など)(20%)で評価を行う。
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	関連する図書等を積極的に読みましょう。
教材・参考文献・配付資料等	1. クリエイティブな教師になろう
オフィスアワー等(連絡先含む)	<p>まずはメールで連絡してください。</p> <p>h-sato at human.tsukuba.ac.jp</p> <p><a href="http://www.human.tsukuba.ac.jp/education/institute/staff/name/%E4%BD%90%E8%97%A4%E5%8D%9A%E5%BF%97">http://www.human.tsukuba.ac.jp/education/institute/staff/name/%E4%BD%90%E8%97%A4%E5%8D%9A%E5%BF%97</a></p>
その他(受講生にのぞむことや受講上の注意点等)	2年生が主な対象ですが、3年生、4年生も履修できます。国際的な視点や研究方法の観点から、初等中等教育の在り方について考えたい学生はぜひ受講して下さい。
他の授業科目との関連	
ティーチングフェロー(TF)・ティーチングアシスタント(TA)	担当教員だけでなく、TAの方も適宜アドバイスします。
キーワード	日本, 諸外国, 学校経営, 学級経営, 教師, 教育経営, 組織, 分散, 信頼, 子どもの学び, 非認知能力, コンピテンシー, 研究方法